

咬合という 高くて険しい岳に

たどり着くための道標を 臨床ケースとイラスト で示した画期的な書。



著・中村健太郎

臨床家であれば誰もが悩む咬合を高くて険しい“岳（やま）”にたとえ、山岳ガイドであるナカムラが「術者本位の咬合」ではない「患者本位の咬合」にたどり着くための道標を示す、すべての歯科医師必読の画期的な1冊。

CONTENTS

咬合の道標 1. 咬合の岳に登ろう！
よい咬合を探し求めて

咬合の道標 2. 咬合の岳を見直そう！
中心位を見定める

咬合の道標 3. 山岳ルートを見直そう！
術者本位の咬合とは

咬合の道標 4. 岳の頂上を目指して！
患者本位の咬合をたどって

咬合の道標 5. 岳の頂上に向かって！
患者本位の咬合にたどり着くために

咬合の道標 6. 咬合の岳に登ろう！
患者本位の咬合を求めて

中村健太郎の
補綴即解シリーズ

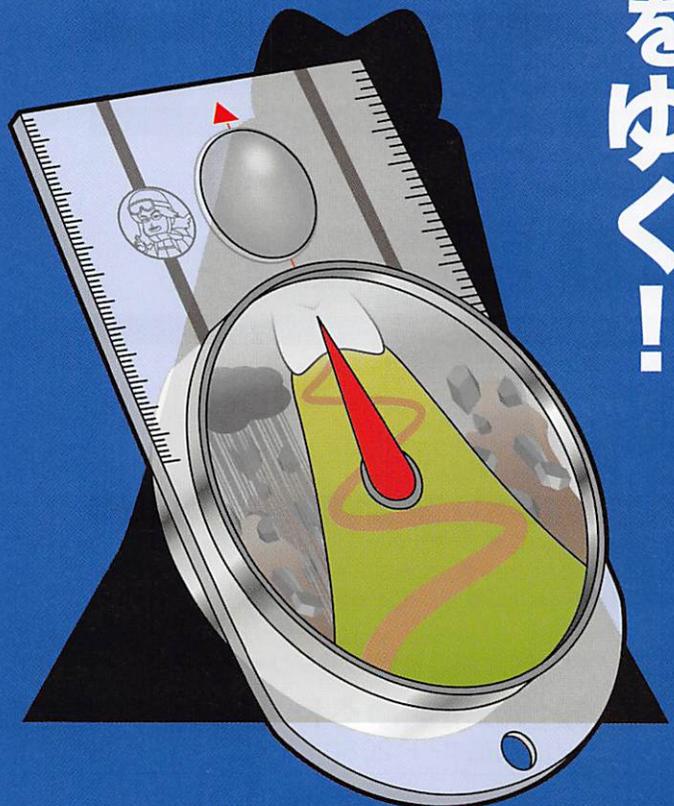
02

著・中村健太郎

咬合の 岳

をゆく！

高くて険しい咬合に登頂するための道標



QUINTESSENCE PUBLISHING
クインテッセンス出版株式会社



咬合の道標を示した画期的な書！

咬合の道標 1

咬合の岳に登ろう！
よい咬合を探し求めて

1. 高く険しい咬合の岳(やま)に挑む

- 1 咬合の岳とは
- 2 麓からは見えない

2. 高く険しい咬合の岳(やま)を確かめる

- 1 咬合の岳を見直してみる
- 2 咬合の岳を眺めてみる
- 3 岳の頂上を見誤ると……

咬合の道標 2

咬合の岳を見直そう！
中心位を見定める

1. 岳(やま)の登山口となるナソロジーを概観する

- 1 ナソロジー
- 2 ナソロジー咬合論
- 3 ナソロジーを再考する

2. 岳(やま)の登山口となる中心位を概観する

- 1 中心位の変遷
- 2 中心位という咬合論
- 3 中心位を見定める

3. 下顎頭が咬合を制することはできない

- 1 下顎頭を誘導する
- 2 顎頭点を実測する
- 3 顎頭点は実測できない

咬合の道標 3

山岳ルートを見直そう！
術者本位の咬合とは

1. 「患者本位の咬合」という山岳ルートは正しいのか

- 1 「術者本位の咬合」という山岳ルート
- 2 「術者本位の咬合」を見直す

2. 「患者本位の咬合」では岳(やま)を制することはできない

- 1 「術者本位の咬合」を見定める
- 2 「術者本位の咬合」から脱却する

咬合の道標 4

岳の頂上を目指して！
患者本位の咬合をたどって

1. 「患者本位の咬合」を見つけ出すアプローチ

- 1 「患者本位の咬合」の道標を見つけ出していく
- 2 アプローチとプロセス
- 3 アプローチに不可欠な補綴診断
- 4 「患者本位の咬合」を見つけ出すプロセス
- 5 プロセスに不可欠な咬頭嵌合位

2. 「患者本位の咬合」にたどり着くプロセス

- 1 「患者本位の咬合」の道標をたどっていく
- 2 「患者本位の咬合」にたどり着いた全部床義歯症例
- 3 無歯顎補綴治療における「咬合の岳」を振り返って

咬合の道標 5

岳の頂上に向かって！
患者本位の咬合にたどり着くために

1. 「患者本位の咬合」に登頂するための診察・検査・診断

- 1 「患者本位の咬合」の道標を頼りに登頂してゆく
- 2 現状の問題点を探り当てる診断とは
- 3 無歯顎患者へのアプローチ
- 4 顎関節症患者へのアプローチ
- 5 顎機能障害患者へのアプローチ
- 6 重篤な顎機能障害患者へのアプローチ

2. 「患者本位の咬合」に登頂するための診断の重要性

- 1 病態診断を正しく導くための道標

咬合の道標 6

咬合の岳に登ろう！
患者本位の咬合を求めて

1. 「患者本位の咬合」に登頂するための暫間補綴装置

- 1 「患者本位の咬合」の道標をたどっていく
- 2 暫間補綴装置の用途を見直す
- 3 トリートメントレストレーションの効用を再考する
- 4 顎機能障害患者へのアプローチ
- 5 プロビジョナルレストレーションの効用を再考する
- 6 プロビジョナルレストレーションの再評価

2. 「患者本位の咬合」に登頂するための補綴歯科治療

- 1 「患者本位の咬合」の道標を頼りに登りつめていく
- 2 咀嚼機能障害患者へのアプローチ
- 3 咀嚼機能障害患者における「咬合の岳」を振り返って

3. 「患者本位の咬合」に登頂できるための補綴歯科治療

- 1 高く険しい「咬合の岳」に登頂するための道標

好評既刊 『中村健太郎の補綴即解シリーズ 01
咬合の謎を解く！ なぜ、咬合は見た目では診断できないのか？』



A4判 / 216ページ / 2017-12-10 発売
定価 15,400円(本体 14,000円+税10%)